

東京庄原格致会会報

二二二年度総会報告

平成二二二年度(第二八回)総会並びに懇親会が好天に恵まれた昨年一〇月二四日(日)上野精養軒日本橋店において盛大に開催されました。

四九人の会員・同伴者に加え、八人の来賓者の出席のもと、一二時より八谷幹事長の司会により始まりました。

冒頭、八人の会員の方の訃報に対してご冥福を祈り黙祷を捧げた後、合田会長から東京庄原格致会の現状と更なる発展を目指しての取り組みについて話があり、また、昨年七月故郷の集中豪雨により被害に遭われた方々への弔意、お見舞いの言葉も添えられました。

続いて、来賓の挨拶では、母校の福山校長先生から、生徒の進路や写真部、野球部を始めとする後輩達の活動状況などについての話があり、同窓会本部の藤原常任幹事長からは十一月の総会で、長年同窓会の発展に尽力された伊達会長が引退される予定との話がありました。

その後の議事では、二二二年度の事業報告、会計報告、監査報告が行われ、満場一致で承認されました。次に、庄原市役所から出席いただいた三玉商工観光課長、加藤財政課理係長から、庄原市の現状等と、ふるさと応援寄付金(ふるさと納税)についてのお話がありました。

最後に、東京広島県人会から出席された山本会員拡大委員長、小林同幹事から県人会の現状説明と加入要請がありました。

第二部の懇親会は、福場副幹事長の司会により、再会を祝う開会宣言に続いて、出席者最年長の平田顧問の乾杯の発声により楽しい懇談に入りました。食事も一段落したところで、来賓の庄原実業同窓会東京支部田端副支部長並びに世羅高校東京校友会花村副会長からご挨拶があり、例年好評の福引に入りました。

最後は、全員による「校歌・応援歌」斉唱の後、八谷義登会員の「元気で来年も集おう」の発声中で締め、散会になりました。

(事務局)



来賓の田端さん



来賓の花村さん



出席された皆さん

第19号
2011年9月

発行人・合田良三
編集人・寺川勝海
印刷所 (株) クレスコア
コミュニケーションズ

出席者名簿

- | | | | |
|-----------|-------------------|--------|--------|
| 福山友善 | 庄原格致高校校長 | 昭和二〇年卒 | (庄原西浦) |
| 藤原敦善 | 庄原格致高校同窓会常任幹事長 | 同 | (峯田) |
| 田端章雄 | 庄原実業高校同窓会東京支部副支部長 | 昭和二三年卒 | (西郷) |
| 花村八郎 | 世羅高校東京校友会副会長 | 昭和二四年卒 | (庄原本町) |
| 三玉政則 | 庄原市役所商工観光課長 | 同 | (本郷) |
| 加藤武徳 | 同市役所財政課理係長 | 昭和二五年卒 | (山内西) |
| 山本芳樹 | 東京広島県人会会員拡大委員長 | 昭和二六年卒 | (庄原) |
| 小林正治 | 同広島県人会会員拡大幹事 | 同 | (東原) |
| 平田耕司 | | 昭和二八年卒 | (川北) |
| 八谷義登 | | 同 | (西郷) |
| 山田健太郎 | | 昭和二九年卒 | (西郷) |
| 坂井昌彦 | | 昭和二九年卒 | (庄原本町) |
| 滑年雄 | | 同 | (庄原本町) |
| 室伏孝一 | | 昭和三〇年卒 | (山内東) |
| 岡田昌人 | | 昭和三〇年卒 | (庄原) |
| 田中茂樹 | | 同 | (東原) |
| 保田治義 | | 昭和三〇年卒 | (西郷) |
| 近藤正昭 | | 昭和三〇年卒 | (西郷) |
| 小川尚志 | | 昭和三〇年卒 | (庄原本町) |
| 小川尚高 | | 同 | (庄原本町) |
| 増山宏昭 | | 昭和三〇年卒 | (山内東) |
| 明賀肇 | | 同 | (西郷) |
| 賀賀哲博 | | 昭和三一年卒 | (庄原) |
| 加藤哲治 | | 昭和三二年卒 | (本郷) |
| 生田八洲紘 | | 昭和三三年卒 | (濁川) |
| 清水正志 | | 同 | (川北) |
| 積山弘佳 | | 昭和三四年卒 | (山内西) |
| 八谷英樹 | | 同 | (西郷) |
| 吉岡公義 | | 昭和三七年卒 | (比和) |
| 寺川勝海 | | 同 | (比和) |
| 五十嵐伸子(音倉) | | 昭和三八年卒 | (庄原本町) |
| 岡崎千鶴子(伊藤) | | 同 | (川北) |
| 川野正江(明石) | | 同 | (西郷) |
| 小池正之 | | 同 | (庄原本町) |
| 清水和子(野田) | | 同 | (庄原本町) |
| 谷川幸弘 | | 同 | (高) |
| 塚原進 | | 同 | (高) |
| 守光紀代子(後藤) | | 同 | (高) |
| 渡邊千草(岡田) | | 同 | (高) |
| 渡邊俊昭(岡田) | | 同 | (高) |
| 花田由巳子 | | 昭和四〇年卒 | (庄原本町) |
| 花田和教 | | 昭和四〇年卒 | (庄原本町) |
| 迫田秀明 | | 昭和四一年卒 | (大久保) |
| 福場泰蔵 | | 昭和四五年卒 | (庄原) |
| 福場美知留(市岡) | | 昭和四七年卒 | (東城) |
| 奥重秀彦 | | 昭和四八年卒 | (口和) |
| 田原英樹 | | 昭和四八年卒 | (口和) |

氏名の中の()は旧姓

二二二年度 総会・懇親会のご案内

一〇月二三日(日)
上野精養軒日本橋店にて開催

今年度の総会・懇親会を例年通り、一〇月二三日(日)に開催いたします。

会場は毎年好評をいただいております上野精養軒日本橋店でございます。

母校の校長先生、同窓会会長にもご出席いただくようお願いしております。

広島弁丸出しの楽しい会になりますよう友人・知人をお誘い合わせいただき、多数の皆様のご出席をお待ちしております。

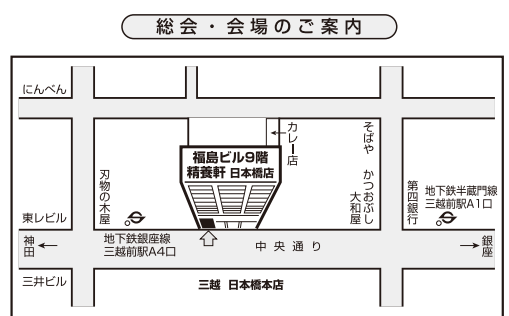
一日時 平成二三年一〇月二三日(日)
(受付開始は一時三〇分から行います)
総会 二時から三〇分程度
懇親会 約二時間程度
お開きは一時三〇分を予定しております。

二場所 上野精養軒日本橋店
東京都中央区日本橋室町一五―三

電話 〇三―三二四―二七四一

三、会費 八〇〇〇円
(但し、女性並びに同伴の方は六〇〇〇円です)

*年会費二〇〇〇円については当日受付でも承ります。



〒103-0022 東京都中央区日本橋室町1-5-3 福島ビル9階
上野精養軒 日本橋店
TEL (3241) 2741 FAX (3246) 2934

東日本大震災への思い

東京庄原格致会会長
合田良三



【略歴】
川北町出身。昭和三十三年母校卒。神奈川大学卒業後(株)みつわ(宝石業界)入社。

会員の皆様におかれましてはご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。

東日本大震災において親戚、友人、知人に被災された方はおられなかったでしょうか。

被災された方に対して心からお見舞い申し上げます。そして亡くなられた方やご家族の皆様には衷心より哀悼の意を捧げたいと思います。また、東京電力福島第一原子力発電所事故で放射能汚染による農・水産物の被害をされて住民の避難に伴う精神的苦痛などで悲惨な生活をされている方々のために、東京電力の技術者は専門家の知恵、海外の知恵を結集して努力を続けていますが、一日も早い収束を願っております。

国際原子力機関(IAEA)調査団の報告では「津波の想定が過小評価されていた。安全規則を担う原子力安全保安院が原発を推進する経済産業省の下にあることの矛盾」も指摘し、独立性と役割の明確化が必要であるとしています。

日本は唯一の被爆国であり、人命尊重の平和を追求してきたはずなのに、科学の発達にもなつて自然の偉大な力に対する畏敬の念を喪失して傲慢になったため事故が拡大したとも言えるのではないのでしょうか。

震災で企業が被災したことが日本経済に打撃をあたえ、アメリカなどにも部品等の供給網が混乱し米

国経済にも影響を与えています。

この震災で東京庄原格致会でも活動が自粛モードとなり、同好会のゴルフ、バス旅行、囲碁等各クラブとも春の行事を中止しております。

自爾は自爾でそれなりに意義があったと思えます。被災地に対して直接の復興支援はなかなか難しいと思いますが、被災者が地元野菜などを販売するイベントには皆さん積極的に協力しようではありませんか。東北の観光地だけではなく全国の観光地も活気がなくなっている様子なので、少しでも早く通常とおりの生活にもどり、ショッピング、たまには旅行などで大いに消費し、経済を盛り上げれば広い意味で復興支援に当たると考えます。

過日、山陰を旅行した時、鳥取砂丘から天の橋立に行く途中、但馬の小京都といわれる出石の町を散策してありましたら、お寺の前に掲げてあった言葉に、「帰る場所が約束されている人ほど幸せなことはない」とありました。

被災で避難所暮らしの人には、身にしみる言葉だと思えました。人命は縦に永遠であり横に無限です。そして全ての生命は他の生命によって支えられているという自然の原点に返って今という瞬間を生かされている生命がいかに尊いか、この災害で改めて自覚いたしました。

震災で社会的弱い立場にいる人に、より多くのしわ寄せがきましたが、その先も見据えた社会づくりができる人材を育てる政策も必要でしょう。

被災地の方々には、七転び八起きの精神で、この震災で失ったものを明日につないで復興の頑張りを願っております。(六月記)

県北の現状と課題



広島県立
庄原格致高等学校校長
三宅康生

【略歴】
昭和二十九年三次市生まれ。初任校広島県立賀茂高校、白木高校に勤務後、県立高校を退職。広島市立基町高校勤務。その後、三次高校の定時制教頭(二年)、日彰館高校教頭(三年)、校長(五年)を経て、今年度庄原格致高校へ赴任。

東日本大震災により多くの方々方が犠牲になられたこと、心よりご冥福をお祈りいたします。そして、今現在、復興に向けて多くの方々方が頑張られておられます。庄原格致高等学校としても、生徒会・保護者会をはじめ、少しでもお役にたてたいだければとの思いで、義捐金を送らせていただきました。震災に遭われた方々が、自然と唱歌「ふるさと」を歌われているなど、ふるさとへの思いは個々の状況は異なるものがあるかと思えます。

同窓生の皆様方もやはりふるさと庄原、母校「格致」に対する想いが年々募られているのではないのでしょうか。

さて、今年度の人事異動で、日彰館高校から転任して参りました。県北において三次高校管理職二年、前任の日彰館高校で八年間管理職を務めさせていただきました。私の教師時代は、広島市立基町高校時代を始め広島市周辺校の経験がすべてでしたから、県北に来た当初、県北の状況に戸惑いを感じました。その戸惑いの幾つかを挙げてみます。

- ① 生徒同士に、いい意味での競争心が弱い。(特に他校の生徒と触れ合うチャンスが広島市内の生徒より少ないためか、学習面において感じます)
- ② 保護者が、卒業後のことについての意識が薄い。チャレンジャー校であるにしては、専門学校への進学希望が多い。(地域性や経済状況にもよると思えるが)
- ③ 子どもは高校生活での出来事に、親が出すぎている気がします。(自立心・問題解決能力を培うことが大切であると考える場面が多い)

ただ、とても素朴で素直な生徒が多い。そのような県北で校長をさせていただいて、どの県北の高校に勤務させていただいても課題となるものがあります。それは少子化の波です。

いきなり厳しい近況報告になりますが、平成二十三年度入試において、県北の普通科高校はすべて定員割れとなりました。少子化の影響もありますが、県北から、沿岸部(広島など)に毎年二百名近い生徒が出ています。

これらの生徒が県北の高校に進学していれば、県北の高校は定員を満たすこととなります。これらの生徒はなぜ県北に留まらないのか。安芸高田市・三次市・庄原市の中学校の話によれば、次の三点が挙げられるそうです。

- ① 難関大学など意識している保護者・生徒(受験校とされる国立公立校・私学の高校)
- ② クラブ活動で頑張りたい生徒(主に私学)
- ③ 文武両道は広島市内の県立高校がしやすい(通学時間八〇分)

このような生徒が県北の高校を選んでみたいと思える高校でなければ、これからは県北の高校は定員確保できないと考えます。

さて、庄原格致高校は、今年度入試で定員二〇〇人に対し、一〇一人の入学となりました。今後本校もさらに厳しい状況になると考えます。庄原市内の生徒だけでなく三次市から多くの中学生が受験してくれれば選んでくれる学校とならなければなりません。格致高校といえは「英語力をつける学校」「コミュニ

ニケーション能力を高める学校」を県北に轟かせたいと考えます。今年度、次の取り組みを強化します。

- ① 高校一年生の学力の定着を図ります。広島県から本年度もチャレンジハイスクールに選ばれています。受験に向け、まず基礎基本を定着させることが大切です。この定着を図る取り組みとして、「学びの共同体」という授業形態を取り入れました。授業において、インプットよりアウトプットできる生徒を育てる。この授業形式により応用力が付き、三年時受験に向けて確実な力がつくことと確信しています。
- ② グローバル社会に対応できる学力をつけます。上級学校へ進むにしろ就職するにしろ、言語活動力をつける必要があります。一年生には、第三回の英検は全員受験とし、二年生以降二級取得者三〇名以上、準二級取得者六〇%以上を目指します。
- ③ 三次市内中学生に対し、格致高校の宣伝を更に強化を図ります。(イベントなど)
- ④ 更なるクラブ活動の活性化を図り、生徒と教師がともに切磋琢磨する学校を目指します。クラブ活動においては、文化部・体育館において小さい学校ではありますが、全国大会・中国大会に出場するクラブがあります。

「格致高校を選びたい」、「来て良かった」、「自分の夢をかなえることができる」、このような学校を目指し、教職員一同頑張りますので、同窓生の方々の温かいご指導・ご支援を今後ともよろしくお願いいたします。

ご挨拶

同窓会会長 片山孝昭



【略歴】
昭和三十三年卒。庄原中学PTA会長。四二歳〜六五歳まで、六期二三年間庄原市議会議員。議長、副議長、各常任委員会委員長。現在、庄原市地域審議会会長、事業評価委員会委員長。庄原自治振興区連協副会長。

東京庄原格致会の皆様には、ご健勝にてお過ごしのことと存じます。昨年十一月の同窓会総会に於いて役員改選があり、伊達正治会長の勇退に伴い不高

私が会長に選任されました。もとより浅学非才の身ではありますが、会員の皆様のご支援とご協力をいただきながら会の運営に頑張っておりますので、よろしくお願いたします。伊達正治先生は私の恩師であり、三年生の時の担任でありました。

日々努力することの大切さ、勉強もさることながら人間としての生き方等について多くの事を学ばせていただきました。

尊敬する恩師の後を引き継ぐことは大変なことでありますが、本会発展のため努力して参りますので、会員の皆様のご協力とご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。

さて、昨年七月一六日、庄原市川北町、川西町を中心に三時間で二五〇ミリのゲリラ豪雨が襲い、家屋流失、死者一名、田畑の被害五〇町歩等の甚大な被害が発生しました。

早速東京格致会の皆様から、物心両面にわたりご支援賜りましたことに対し、心よりお礼申し上げます。また、今年三月一日には東日本大震災が発生し、地震、津波、原発事故等、かつてない大災害が発生いたしました。

東京も原発事故の影響や交通機関、余震等の心配もあったことと思います。庄原市も災害の時には多くの義捐金をいただきました。

今回の東日本震災に関しては、行政、病院、社会福祉協議会からボランティアの派遣、義捐金の送付等、一日も早い復旧を願ひ頑張っております。今回の大震災は日本の将来を左右する大きな問題であると思っております。

このような時に国会が政争に明け暮れている現状を見る時、一刻も早く政財界、官民一体となって災害に対応する体制をつくる必要がありますと痛感する次第であります。

次に格致高校の現状についておきます。

会長就任後、五〇年振りに卒業式、入学式に出席し祝辞を述べる機会をいただきました。入学式では一〇〇人定員ですが一九人の定員割れでありました。こうが続くことが続きますと広島県内陸部を中心に高校の統廃合が現実のものとなって参ります。格致高校も統廃合の対象になって参ります。そこで今、学校、PTA、同窓会の三者で協議会をつくり、学校の努力が一番必要であります。行政、県教育委員会等への働きかけを強力に推進していかねばならない時期にきておりますので、会員の皆様からのご意見もお寄せいただきたいと思っております。終わりに申し上げますが、東京庄原格致会の皆様のご健勝を祈念申し上げます。

会員だより

他愛無い独り言

三五年卒

吉岡 公 義



【略歴】
高根大学卒業後(株)紀伊国屋書店入社。専務、社長を務め、副会長を最後に退職。

庄原高校を卒業したのは昭和三五年。すでに五〇年以上前のこととなった。昭和三九年春、新宿の紀伊国屋書店に入社し、東京で暮らすことになった。丁度、東京オリピックが開催された年である。すぐそばの神宮の森で聖火が赤々と燃えているのが社の屋上からよく見えた。近くで行われているのに会場に行けないことを残念に思ったものである。

以来、戦後の復興、高度成長期、バブル崩壊そして失われた一〇年とざっと四七年間紀伊国屋書店にお世話になり、二年前退社した。

この間、人との出会いに恵まれ、今日の自分があると感謝している。全くの会社人間で、会社を離れると何の能力も取り柄もない。お恥ずかしいが、付き合ひでやっていたゴルフと運動不足解消にと始めたマラソン(ジョギング)しかない。やりだすと夢中に似る性格なのかこの二つは今もつてやめられない。

家内とも全く合わない。リタイアして二年間、家内に叱られない時間は年五回程度のヨーロッパ旅行の時だけ。後は「男は黙って我慢」の日々。

リタイア後、未だにやるべき事も見いだせないのだが、現代時代の習性で、手帳が空白だと何か落ち着かない。幸い今は、多くの友人、知人のお陰でどうにか手帳は埋まっている。私の年齢では、会える時、やれる時に会ったりやっておかないと、ということもあるだろう。何れ落ち着くところに落ち着くと思っている。

さて、庄原とは私にとっては先ず、小、中、高の同級生のこと。小学時代の山の中のチャンバラ、村道での駅伝や草野球、そして上野公園の桜、遠足の七塚原牧場。最近では三年前になくなった父が好き

だった簡保の湯である。

東京庄原格致会の名簿によると、東京には昭和三五年母校卒の同級生が三三人も健在で、心強い。東京庄原格致会に出席すると、お元気な先輩、後輩の方々にお会いでき、生きる喜び、勇気のようなものを頂く。この会のゴルフにも時々参加させていた。付き合ひゴルフとは一味違う気楽で楽しいゴルフとなる。さらに私たち同期と三三年卒の先輩との対抗戦ゴルフもあり、これはまた格別である。目下の夢は、この対抗戦を庄原カントリーで行うことである。

庄原そして格致会は心のオアシス。こうしたご縁をこれからも大切にしたい。

次はマラソンのこと。私はもともと走る事が好きだった。会社に入社した年の秋、豊島園の大運動場で、会社恒例の運動会があり、千五百メートル走に出場、以来、東京各区、各市、神奈川県、各市、町村、時には埼玉県、千葉県の方まで毎日曜日、競技会、ロードレース、駅伝と参加することになる。「東京みすじクラブ」というクラブチームを結成、実業団、大学のチームとよく競った。平日は会社から帰って夕食前に練習し、一年中日曜日は大会へ。家内は呆れて文句ひとつ言わない。娘たちも、「パパはマラソン」とそれが当たり前と思ってくれたようだ。

結局四二歳でドクターストップとなるまで走り続けた。青梅マラソンの第二回大会では、東京オリピック銅メダルの円谷幸吉さんと一緒のレースだった。氏とは狭山湖駅伝でも一緒だった。

マラソンという格致では昭和二六年、ボストンマラソンで日本人として初めて優勝の田中茂樹さんがおられる。氏の戦歴の凄いは皆さんよくご承知と思う。私がガキの頃、竹バットで軟式野球をして遊んでいた時、ボストンマラソンの優勝前か後かは分からないが、トレイニング姿を目の当たりにしたことがある。(恐らく高門から永末、宮内、高あたりを練習されていたのかもしれない)。

飛ぶように走り抜けたことをよく記憶している。腰の位置が高く、足が長かった。

今より少し前、氏が歴代のオリピック選手等、日本を代表するマラソンランナーについて上梓なさる折、お目にかかるチャンスがあった。私にとつては殿上人であり、近づくとおははかれる方。ところが実際お会いすると、氏は大変気さくで愉快。そしてエネルギーの塊のような方。色々とためになる楽しいお話をうかがえたことは私の人生の宝である。驚いたことに氏の足はそんなに長くはなかった。東京庄原格致会総会で氏と会える楽しみもあり、こ

酒井会計事務所

AFP 酒井 久 幸
税理士 (昭和 25 年卒)

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町
1-32 福原ビル3F
電話 (03) 3255-8995

洋光繊維株式会社

代表取締役
木村 貞 寧
(昭和 25 年卒)

〒130-0004 東京都墨田区本所4-9-10
電話 (03) 3623-3176

れからも色々ご指導いただきたいと念願している。事務局からの強い要請を断り切れず、恥を忍んで駄文をお目にかけることになりました。

この会を立ち上げられた先輩、引き継いでこられた先輩、そうした皆様のお考え、思いを大事に、これからも人との出会いを大切にしながら、ゴールドンセブンティズといきたいものです。今後とも皆様よろしくお願いたします。

九寨溝・黄龍を旅して

三七年卒

寺川 勝海



〔略歴〕
西城町出身。四二年富士コカ、コーラボトリング(株)入社。東京庄原格致会事務局局長。

七月十四日から一九日の日程で、中国四川省にある九寨溝と黄龍の旅をしました。皆さんもよくご存知の通り、九寨溝と黄龍は隣り合わせの大観光地で、世界遺産に登録されており、特に女性の人気が高く、行かれた方も多いと思います。

十四日昼頃成田集合。七人参加のところ二人が急遽キャンセルとのことで結局五人の団体旅行となりました。メンバーは家内を入れて同年輩(六五、七〇才)位の女性四人、男は私一人でした。人数は少なくとも男同士でお酒が呑めると期待していた私にとっては内心がっくりです。

中国東方航空で、成田から上海に飛び、そこで国内便に乗り換えて四川省の成都に行きます。成田・上海の飛行時間は約三時間十五分、上海・成都も同じ時間で、中国の国土の広さを痛感しました。

その日は成都に泊まり、翌朝四川省北部の山間部にある九寨溝空港まで約五〇分のフライトです。九寨溝空港は七年位前に造られた空港で海拔三五〇〇mの高地にあります。成都(五〇〇m)から一気に三〇〇m登ることになります。空港に降りたとき空気の薄さを感じました。一日数十便発着の空港ですが、険しい山岳地帯を通るため、風、霧、雨の影響で欠航・遅延は当たり前だそう。

空港からはチャーターバスでいよいよ目的地の九寨溝見物です。バスは一七人乗りで、私たち五人と日本から一緒のツアーディレクター(添乗員)のお

九寨溝

嬢さんそして現地ガイドのお兄さんの七名でしたから車内はゆつたりでした。この辺りの住民はチベット族が多く、原色の布に経文を書いた独特の旗があたりこちでたなびいていました。住民のほとんどは土産物の製造販売、ホテル経営など観光事業に従事しており比較的裕福な暮らしをしているそうです。

チベット族の人たちはチベット仏教に対する信仰心がきわめて高くラサのポタラ宮に巡礼するの生涯の夢だそう。お金は紙幣で持つのでなく、宝石類等にかえて身につけ、女性の着飾った装飾品は日本円で数百万円にもなるとか。

九寨溝とは九つのチベット族の集落のある谷の意味でYの字に流れる三本の大きな溝からなります。各溝に沿って幅が三〇〇mを超す滝や一〇〇以上の大小の湖沼が連なり、底が見通せる澄んだ水、エメラルドグリーン、マリンブルーなど色合いが異なる湖面の美しさは圧巻です。ここでは一般車の乗り入れが禁止で、専用の乗合バスと徒歩で見物します。

私たちは二日間かけて見物しました。歩道は幅三m位のしつかりした木道でよく整備されてありました。

黄龍

黄龍は九寨溝の南側に位置し、標高は入口が三二〇〇m、高い所で三五六〇mの高地にあります。途中までロープウェイを利用しました。溪谷に沿って大小三〇〇〇を超す湖沼が棚田状に連なり、差し込む太陽光線の強弱などにより、湖沼が青色や黄緑色に輝きます。黄色い石灰岩盤を下り落ちる水の流れが、上から見ると黄色い龍のように見えることからこの名前がついたそう。

今回の旅は何れも高地にあるため、高山病対策として、酸素缶が配られました。料理はキノコ料理をよく食べました。期



待っていた本場四川麻婆豆腐は成都の専門店で見ました。

初めての短い中国の旅でしたが、この国が今急速に発展を遂げているのを目の当たりに感じました。上海はもちろん、内陸部の成都でも高速道路が縦横に走り、高速鉄道も開通しています。しかし現地ガイドが「ハード面ではともかくソフト面では日本を始め先進国にはまだまだ及ばない」と言っていました。高速鉄道の事故が起きたのは帰国直後でした。

押し花と出逢えて

三八年卒

渡邊 千草



〔略歴〕
川西町出身。昭和四二年上京。夫転勤のため茨城県取手市に転居。昭和五六年、平成一八年会社勤務。平成二年、押し花インストラクター資格取得。

この度の東日本大震災の被害に遭われました皆様から心からお見舞い申し上げます。我が家も家財が少し被害に遭いましたが、怪我もなく子供家族も全員無事でした。地震、原発事故が早く収束して、安心・安心の暮らしができるよう願っております。

さて、私が押し花と出逢えたのは今から四年前の事です。主婦業・子育て・会社員と家族の協力を得ながら勤め、子供二人(娘・息子)も大学を卒業、社会へ出てやがて二人とも結婚し、可愛い孫達(四人)にも恵まれ、気がつけば定年間近になっていました。心身ともに疲れて六二歳で退職。家庭に入りのんびりと日々を過ごせると思っていたのですが、さて辞めて自由の時間が持てるのに、毎日ただボーッと過ごしていました。これは何か趣味を見つけないかと思っていた矢先、友達に押し花の体験会に誘われ、「わくわく」しながら教室を訪れました。

ハガキの押し花の体験をして、これは私にピッタリだと思い、即その場で入会しました。「常日頃から好きな趣味を見つけて楽しめばよい」と理解してくれていましたから、夫には事後報告でした。

月二回のお稽古が楽しくて、熱心な先生の指導の下、一つ一つのカリキュラムも楽しくクリアできました。花を押し、組み立てて、デザインし、作品が

体がよろこぶ!

「効く」漢方の正体

薬剤師 惠木 弘著 (株)東洋薬行社長 定価 1050 円 (税込)

東京庄原格致会会員が上梓しました

例えばカゼに効く葛根湯、10社以上から同名の商品が出ているが、品質は千差万別。当然、効果もまちまち。漢方生薬の品質を40年以上研究してきた筆者が、今まで誰も語らなかった、知らない損をする「効く」薬の選び方を指南する。

お求めはアマゾン(www.amazon.co.jp)かお近くの書店まで

西葛西・井上眼科病院

東京女子医大名誉教授

院長 宮 永 嘉 隆 (昭和 28 年卒)

医学博士

〒134-0088 東京都江戸川区西葛西5-4-9
TEL 03-5605-2100 (代)

仕上がった時の気持ちは、それはもう達成感で嬉しい限りです。押花をしている時は、時の経つのも忘れて集中できます。孫達のお祝い事の写真を入れて作画し子供家族に贈って喜ばれています。

押花は、花だけではなく、野菜、果物など色々素材を押して楽しめます。昨年にはインスタラクターの資格取得に挑戦しました。受験はかなりのプレッシャーを感じましたが、先生のご指導のおかげで無事取得できました。今は先生を囲んでインスタクター教人と勉強会を開いています。また、健康管理のためオーキングをしています。

夫は六六歳(同一年・西城出身)で退職し、無農薬野菜作りと剣道に励んで。週四回の道場通いでいい汗を流してあります。息子に勧められて三六歳で剣道を始め、昨年念願の六段の免状をいただき、少年部の指導しながら楽しんであります。

夫婦健康で仲良く、お互いに趣味を楽しみながら長生きしたいものです。私の夢はいつの日か自分の「押花教室」を開くことです。

会員日より 特別寄稿

昨年七月の庄原市の大災害、今年三月の東日本大震災と各地で多くの被害が発生しています。私たちはその都度、義捐金や物資を被災地に贈ってきました。そこで今回、過疎化が進む故郷庄原市に思いを馳せ、「ふるさと納税」制度を活用し、「庄原市ふるさと応援寄付金」を三年前から実践されている遠藤靖夫さん(三十七年卒)高町出身)にその方法について寄稿していただきました。東京庄原格致会として一人でも多くご賛同いただけることを願っております。

(事務局)

ふるさとを応援しよう

昭和三十七年卒
遠藤 靖夫



【略歴】
高町出身。三菱信託銀行(現三菱UFJ信託銀行)広島支店に入社。福岡、千葉、横浜、都内各所で勤務。平成一六年子会社で定年。大和市在住。

年初の当会の全体会議で、「何か社会貢献したいのだが・・・」と議題になりました。私は、平成二〇年から「ふるさと納税」をしてみたらとのことで、ご披露することになりました。

寄付をしても、実質の自分の負担は軽微です。高校卒業までお世話になった郷里の庄原市。少しでもお役に立てばとの思いです。

この制度は、自らの住民税の概ね一割の寄付をふるさと市町村にした場合、所得税の減額と住民税の税額控除があり、実質五千円程度の自己負担で寄付ができる、というものです。詳しくは庄原市のホームページに載っています。私が、私がした手順は次の通りです。

① 寄付をしたいと、庄原市に書類を出す。(私はホームページから取得した書類をメールに添付して送りましたが、電話等で書類を取り寄せ申し込むと良いと思います)

② 市から郵便振替用紙を送ってくるので、それで払い込む。

③ 市から寄付をした証明書が送られてくる。

④ 翌年三月の確定申告の時、寄付金控除の欄に記載をし、市からの証明書を添付する。同時に確定申告書住民税の欄にも寄付をした旨の記載をする。(この住民税の欄への記載も必須)

所得税は安くなり、住民税は税額控除で安くなった納付書が六月頃に送られてきます。計算してみると、自分の実質負担は五千円程度と、ちゃんと税金は安くなっています。

因みに、私は平成二二年に三万五千円の寄付をしました。寄付をしたことにより、所得税が六千六百円安くなり、住民税のうち市民税が一万四千四百円安くなり、県民税が九千六百円安くなりました。合計すると三万六千六百円安くなっていて、自己負担は四千四百円だけになっています。

平成二二年から、所得税の寄付金控除額が少し増えたため、自己負担額は四千四百円となりましたが、平成二〇年と二一年の自己負担額は丁度五千円だけでした。

年取が大きく変わらなければ住民税の額も大

きくは変わらないはずですが。住民税の額を予想して寄付をしてはいかがでしょうか。

一割は厳密ではなくて、一割を少々超えても五千円程度の自己負担で済むようです。

なお、市からお礼の品が来ます。品物は、ホームページに載っていますので、その中から選べます。五千円分になるかな?

ホームページから「庄原市ふるさと応援寄付金」の見出しをクリックしてみられたらいかがでしょうか。

【問い合わせ先】
庄原市財政課理財係
電話 〇八二四(七三) 一一〇二
ファックス 〇八二四(七二) 三三三二
<http://www.city.shobarahiroshima.jp>

母校だより

全員で良い曲へ

庄原格致高校二年 吹奏楽部
田 辺 夢 果

五月二日と三日、今年も格致祭・文化の部が行われました。私たち吹奏楽部は二日のオープニングに向け、クラス等の練習に時間を取られながらも、朝練、昼練、延長練と、練習を重ねました。練習時間は短く、曲数も七曲と昨年よりも多いため、部員全員が不安とプレッシャーでいっぱいでした。それでも三年生が最後だということ、必ず成功させたいという皆の思いが強かったのでしょう。全校生徒と先生方そして保護者が見守る中、私たちは練習の成果を十分に発揮した良い演奏ができました。皆様からの拍手が響いた瞬間、目に涙をためる先輩方。楽器や椅子を片付けの際には、ほとんどの部員が嗚咽をもらっていました。「自分は格致祭でこの瞬間が一番素晴らしいと思う」と、後からある方が話されました。「最後の自分たち

J E W E L E R
miwa

東京都中央区銀座6-7-2
TEL. 03-3572-5011
<http://www.miwaj.com>

株式会社 龍 寿司

代表取締役 椎名 喜多子
(旧姓 室伏) (昭和31年卒)

東京都中央卸売市場内・1号館

TEL/FAX 03-3541-9517 営業時間/午前6:30~午後2:00
TEL 03-3547-6894

(予約はお受けしておりません。日曜・休日等市場が休みの日は休業致します。)

の晴れ舞台」と最高のものにしよとすると三年生。それをサボートすると同時に、その三年生の経験を少しでも多く受け継ごうと自分たちでできる精一杯をつくそうとする二年生。まだ未熟ながらも教えていただいたことを活かし、貢献しようとする一年生。そんな思いが伝わってくるようだとおっしゃいました。私はそのお話から考えたことがあります。

今、私たちが一番悩んでいることが、「演奏で歌う」ということです。ただ楽譜に沿って書かれた長さで、書かれた強さで音を出すだけではなく、その曲のイメージを頭の中で持ち、音一つひとつに抑揚をつけるということ。曲を聞いた人が気分良く聴けるように、また自分たちも楽しめるように、それが「歌う」なのだと言っておっしゃいました。

しかし、歌ったとしても、それを一人が歌ったのでは意味がありません。高音や中音、低音、打楽器等、様々な楽器があるからこそメロディーがハーモニーとなり、それが曲になっていくのだと思えます。結局、皆がいるから一つの曲ができ、それを楽しめるということ。これを成すためには、皆が同じ思いを持ち、同じ高みを目指すことが一番大切だと思えました。「歌う」ということももちろん大切ではあるけれど、それ以上に皆でやり遂げようという意識がなければ、良い曲もできないし、何よりやっている自分たちもきつと楽しくないはず。そしてその意識を高めるための場が「部」であるのではないのでしょうか。こうやって良い曲をつくるために部員一人ひとりが考えて、その思いを受け継いでいき、その結果曲が良いものに変わっていくのだと思えます。あの時に聞いた話は、私の中にこのようなことを考えさせてくれました。

現在、私たちはコンクール・体育祭・クリスマスコンサートやその他地域の行事を見据えて練習しています。「格致祭を最後の舞台にする」と考えていた三年生も、二人残って最後の夏のコンクールを迎えてくださることにになりました。三年生にとってはもちろん、二年生にとっても、心に残る演奏ができるよう、庄原格致高校吹奏楽部として、全員で頑張っています。



郷土だより

上野池

三五年卒
桑原知樹



【略歴】
庄原市役所勤務。
平成二三年、庄原格致高校同窓会常任幹事長。

先日、久しぶりに上野池の遊歩道を歩きました。岸辺に沿って立ち並ぶソメイヨシノの鬱蒼と繁る緑葉から漂う微かな香りと一帯の新鮮な空気が心を癒してくれました。
上野池は、懐かしいあの頃のことを思い出させます。

「ひさご山の前で記念撮影をしたで〜」
入学式の時に、ひさご山の前でクラス毎に記念撮影をしたんですよ。制服制帽で。

初々しかったで〜。それから二カ月程経った頃じゃったかの？男子が帽子をテカテカにし始めたんは。上級生の真似をして、帽子に卵をぬったり、ローソクを垂らしたり、食用油を塗ったりしてテカテカにしたんですよ。
「帽子をテンプラにする」言うての〜。おもしろいことをしよったもんですよ。

「十七夜の上野池の花火も心に焼きついでるよ〜」
庄原市の夏の風物詩じゃったけど、毎年、七月一七日の夜は上野池で花火があつたじゃろ〜。夜店も出るし、よ〜け〜な人出で。夜空に輝く花火に心がときめいたもんですよ。

フィナーレはナイアガラの滝という仕掛け花火じゃったで〜。こつちの岸から対岸の弁天さん迄の湖上を花火が滝のように落ちる見事な光景にみとれたもんですよ。そういや、夜店で買った投げ玉を投げてパンパン鳴らして警備の人からしかられた男子もおつたで〜。

「ボートに乗って舟遊びもしたで〜」
あの頃は、上野池にボートが浮かんどったのよ〜。高校時代は乗っちゃあいけないかつたけど、三月一日

の卒業式が終わってからよ。
3〜4人の仲良しがそれぞれ乗り込んで舟遊びをしたんですよ。楽しかったで〜。あのときやあ一〇隻は浮かんどったで〜。中にやあアベックで乗ったも人もおつたの〜。うらやましゅうての〜。

遠い昔のことになりました。ほんとに光陰矢のごとです。歳をとりました。三五年卒の同期生は、今年が古希記念で六月に有馬温泉に行きました。私たちは歳月と共に歳を重ねて七〇歳になりました。私たちが上野池の景観は若返っています。

二〇数年前、樹勢の衰えが進行していた老桜が伐採され、池の周囲に樹高二メートル程のソメイヨシノの稚樹が植えられました。この桜がちょうど今青年期を迎えており、花もみごとだし鬱蒼とした葉の勢いからは若い息吹を感じます。池の北岸に隣接して走る県道も改良され、遊歩道も設置された一帯の景観は、日本の桜一〇選に相応しい環境に整備されました。ただ、桜や枝の一部が枯れ、部分的にしか花を付けていない老桜のあの何んともいえない情緒が好きでした。

しかし、もう見ることはできません。変わらないのは湖面です。特に今の時期、梅雨の雨で満水になった湖面と周囲の山々の景色は、記憶の底に残っている昔のそれと同じです。

上野池は、庄原がふるさとの人たちにとって、大切な思い出を秘めた「懐かしき場所」なのではないでしょうか。
(七月記)



「上野公園 弁天島」37年卒 森永正氏撮影

創業32年



二階堂調剤薬局グループ

二階堂調剤薬局
まへの薬局
北口店

大山調剤薬局
グリーンファーマーシー

代表取締役 薬剤師
石井美佐子
(旧姓 瀧口) (昭和48年卒)

東京都板橋区南常盤台 1-30-21
TEL 03-3958-9955

庄原市の今

庄原市役所建設課勤務
花田 譲 一

つい先日まで、真っ白な雪に覆われていた山々にも、ようやく緑の季節が訪れました。比婆山・道後山も、もうすぐ夏山開きです。(山開き・比婆山五月二九日、吾妻山 六月四日、道後山 六月一九日)。これから秋の紅葉シーズンまでの間、多くのハイカーで賑わうことでしょう。

さて、今年三月一日に発生した「東日本大震災」で犠牲になられた皆様に、謹んで哀悼の意を表すとともに、今なお避難生活を余儀なくされている被災者の皆様に心よりお見舞い申し上げます。

皆様のご記憶にも新しいと思いますが、庄原市においても昨年の七月一日、市内の一部を襲った集中豪雨により、一人の尊い命と多くの大切な財産を失う未曾有の大災害を被りました。

短時間に非常にまとまった雨がごく狭い地域で降り、大量の土石流が下流の集落を襲いました。七五棟の家屋(内全壊一四棟)、農地五六ヘクタールが被害を受けたほか、避難勧告は一二一世帯三二二人に上り、一六八人が、公民館、学校への避難を余儀なくされました。

災害発生直後直ちに自衛隊・県警機動隊・消防署など約二〇〇〇人が現地入りし、行方不明者の捜索や孤立者の救助を行い、さらには地元建設会社によるボランティアでの流木や瓦礫の撤去作業等が進められるなど、多くの皆様のご支援をいただきました。その後、国からの支援もあり、現在ようやく復興への歩みを進めているところです。

そのような中、庄原市では今回の東日本大震災が発生したことについて、「昨年の庄原市災害に対して多くの支援をいただいたことの恩返しができないか」との市長の発案を受けて、市内での支援会議を開きました。

その結果、庄原市独自で土木技術職員二名・事務職員二名、合計四名を一グループとして編成し、二週間ずつの交代で七グループを、四月下旬より宮城県東松山市に派遣しています。現在も現地での活動を行っています。その他、市の保健師や社会福祉協議会職員も各地で支援活動を続けています。

自然の前では、人間の力は無力ではありますが、それでも復興に向けて助け合う姿も人間の力です。「一人ひとりができることを行う。そのことが必ず報われる時がくる」と信じてふるさとの再建に向

けて頑張りたいと思います。皆様も、故郷の復興に向けて庄原市の頑張っている姿を、思い描いていただければ幸いです。(五月記)



22/7/16 川西町 濁流



22/7/17 西城町大戸地区



尾道松江線 トンネル工事

同好会だより

「ゴルフ同好会」第四三回ゴルフコンペ 最終名物ホールをパーで決めた

昭和三五年卒 亀 井 勲 三

室伏先輩の呼びかけで始まったこの親睦ゴルフも、回を重ねて四三回目になった。

平成二二年一〇月二七日は秋晴れの好天に恵まれた。ゴルフ場は、千葉県市川市にある「千葉よみうりカントリークラブ」で開催された。幹事は、昭和三〇年卒の明賀馨さんと三三年卒の生田八洲絃さん。参加者は二二名。

午前九時三〇分、マスター室前で恒例の記念撮影。どの顔も笑顔の中に緊張が漂っていた。晴天、微風、暑からず寒からず、絶好の秋日より。

アウトコースから順次六組がスタートしていった。最初のティショットでOBを出し悔しがる人、ナイスショットで満面の笑みを浮かべる人、悲喜こもごもスタートであった。

わたしの組は先輩の増山宏昭さんと粉原鹿雄さんの三人で五組目にスタート。ワイワイガヤガヤ、楽しいゴルフでした。

私のスコアはアウト42(16パット)イン37(13パット)でグロス79、ハンデ18、ネット71ではからずもベスコロ優勝の栄に浴することができました。スコアの内訳は、

パーディー 2
バーディー 7
ボギー 9
中でもパット29と自分でも信じられないような数字でした。

「パットイズマネー」というゴルフの諺があります。まさに、ゴルフのスコア形成にパットの重要性を再認識した次第です。

このコンペでの優勝は三回目となりますが、今回順位的には津田弘之さんが、グロス95ハンデ127、ネット68で一位でしたが初参加という条件でルールにより二位の私が繰上げ優勝となった訳です。

圧巻は何と言っても最終のショートホール。池越えの打ち上げ、202ヤードでした。ものすごい受けグリーンのため、思い切ってドライパーでショットしたところ、運よくピン奥18ヤードのところワンオン。下りの速いグリーンで、ファーストパットは芯で打ったらボールは完全にグリーンオーバーしてしまう。心臓は「ドキドキ、バクバク」どんな転がりをするか全く予測ができない、しかし打たねばならない。恐る恐るパターのトウでチョコンと当ててみた。「転がる、転がる」、「速い、速い」、「止まれ、止まれ」何度となく大声で呼びかけるが、ボールは無常にもカップの左を抜けて残り5ヤードを残して止まった。セカンドパットは上りで入れれば79、外せば80。大事な一打である。

秋の夕暮れ、辺りは薄暗く、芝目はほとんど見えな。虫の音も「外すな、外すな」と聞こえる。前の組と同業者が凝視する中、緊張は最高潮に達していった。上りのストレートと読みアドレスに入る。「強く打て、強く打て」「ボールから目を離すな」「芯で打て」と反芻する。祈るような気持ちでゆっくり引いてヒットした。少し強かった、オーバーかな？

視線はまだボールのあったところを見ている。その瞬間「カラン、カラン」という心地よい響きが伝わってきた。「パットは左の耳で受け」、先人のゴルフファールは良く言ったものだ。



庄原さくら温泉

かんぽの郷 庄原

〒727-0004 広島県庄原市新庄町281-1

TEL.0824-73-1800 FAX.0824-73-0100

<委託運営会社> 株式会社サンヒルズ庄原

社長 長谷部 泰士 (昭和48年卒)

どんな小さな工事・修理でも、お気軽にご相談ください

ガーデン&エクステリア

0120-454295 お気軽にどうぞ



株式会社 八王子装建

代表取締役 西谷 光徳 (昭和46年卒)

諸官庁工事指定店 10年保証 お見積り無料 迅速対応

八王子市市安町1-32-19

TEL: 0426(45)4295 FAX: 0426(44)8549

URL: http://www.h-soken.com/ E-mail: nisitani@h-soken.com



笑顔の中に緊張感が

【囲碁同好会】

ふるさと庄原を思い
囲碁を楽しむ

二九年卒 宮原幸徳

毎日、のんびりと気ままな生活をしている。だが、毎月第二日曜日だけは少しばかり様子が違う。格致会囲碁同好会の日である。九時二〇分に家を出ると、一〇時一分に横浜市営地下鉄戸塚駅に着く。JR湘南新宿ラインの戸塚発は一〇時七分である。時計を見ながらの分刻みの行動で、久しく忘れていた活力が蘇ってくる。これで一、二時三〇分までに囲碁同好会の開場、新宿囲碁サロン「喜楽」に着くことができる。二時間かけて毎月参加している囲碁同好会は、私にとってどのような会なのであろうか。

対局マナーの悪さを楽しむ

囲碁同好会では「飲酒、喫煙、飲食」が認められている。喫煙については、「禁煙、分煙」と言われたのはつい最近であり、煙草の煙が立ち込めていた以前の基会所を知っている私に違和感はない。だが、集中力が求められる囲碁対局中のアルコール

には、少しばかりの戸惑いもある。では、酒、煙草をやらない私が、対局マナーが良いかといえど決してそうではないので困っている。対局マナーの基本である「対局しながらのおしゃべり」である。対局相手に自分の打った手筋について聞いたり、隣の対局者に話しかけたりもする。だが、事務局からこれまでの勝敗、対局相手・勝率などが、例会毎に一覧表で提出されるので囲碁の対局は対局マナーに反して真剣そのものとなり、三局ぐらゐの対局ですっかり疲れてしまう。それでも対局マナーは、対局者が同郷、同窓であること、の気安さ、甘えからか、一向に良くならない。棋力差のある対局を楽しむ

平成22年度東京庄原格致会会計報告

22年度の総会において、会報に会計報告を載せるべく、期間が9月1日～翌年8月31日を7月1日～翌年6月30日に変更することが可決されました。従って、初年度である22年度は平成23年6月30日までの10カ月間の報告となります。

平成22年度一般会計収支報告書

(自平成22年9月1日～至平成23年6月30日)

(単位：円)

Table with 2 columns: 収入の部 (Income) and 支出の部 (Expenditure). Rows include items like 前年度繰越金, 年会費, 総会費, etc., with corresponding amounts.

平成22年度特別会計(基金)収支報告書

(自平成22年9月1日～至平成23年6月30日)

(単位：円)

Table with 2 columns: 収入の部 (Income) and 支出の部 (Expenditure). Rows include items like 前年度繰越金, 基金, 受取利息, etc., with corresponding amounts.

財産目録(平成23年6月30日現在)

Table showing assets: (一般勘定) 106,636円, 郵便局 振込口座 77,130円, 一般口座 29,506円, 現金 0円, (基金勘定) 郵便局 基金口座 143,010円, 合計 249,646円.

左記のとおり報告致します。平成23年7月13日 東京庄原格致会 会長 合田良三, 監事 近藤正昭, 監事 遠藤靖夫, 副事務局長(会計) 花田和教

アマ高段者と星目風鈴の対局は、普通なら指導者であり、楽な対局となるはずである。この同好会では、リーグ戦として勝敗を決める対局となる。高段者には、星目風鈴の置石に「コミ」が加わった厳しいハンディ対局となり、段位者が級位者に苦杯を喫することもある。私は、置石のある対局、特に五子以上の置碁を苦手としている。でも、対局し易い相手とだけの対局はできない。同郷・同窓を基盤とした囲碁同好会では「全員と対局する」が基本方針になっている。苦手の置碁を避けずに対局することで、置石の多くなる対局ほど、基盤全体のバランスを見て対局することが少しづつできるようになり、置石の多い棋力差のある囲碁も楽しんで対局できるようになってきている。囲碁同好会の月例会は、今年の八月で二〇〇回になり、今年「西城会」の方も入会されました。【囲碁同好会連絡先】〇四四一九二二八九二三 近藤 正昭 〇四五一九三三三九五六 合田 良三

編集後記

☆この度の東日本大震災は、地震による被害に加え、津波、原発事故による放射能汚染と複合的大災害となりました。東京庄原格致会会員におかれても、家族、親戚、知人等が被災され、今なお不安な生活を余儀なくされていると聞いております。当会としても心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早く安心して生活に戻られるよう願っております。また、郷土庄原市からも被災地に義捐金のみならず、市のスタッフを派遣されるという暖かいご支援に対しお礼申し上げます。☆今年四月、母校の校長、同窓会会長並びに常任幹事長の異動があり、それぞれ三宅康生、片山孝明、桑原知樹の各氏が就任されました。母校を取巻く環境が厳しい折、各氏の益々のご尽力を願っております。☆今年度の総会のご案内のとおり、一〇月二三日に開催されます。同封の出欠ハガキでは是非ご返信くださるとともに、一人でも多くのご出席をお待ちしております。(寺川)

ホームページ利用のお願い

http://www.t-shobara-kakuchi.com ホームページをより充実したものにするため、皆様からの沢山の情報・投稿をお待ちしています。

年会費の納入のお願い! 「年会費」は、東京庄原格致会の会報発行等の運営費を賄うための最も重要な財源です。御一人二千元をお願いしております。お送りしております振替用紙で入金いただきますよう、よろしく願います。

「寄付ありがとうございました。」 この一年、次の方々からご寄付いただき、感謝申し上げます。ありがとうございます。

- 咽原省三様 (一七年卒)
出田達雄様 (二九年卒)
伊東兵治様 (三〇年卒)
井上由夫様 (四一年卒)
守長和子様 (四一年卒)